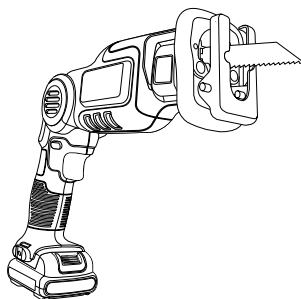
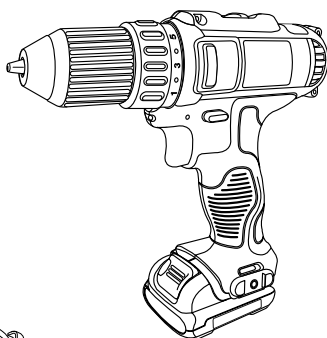
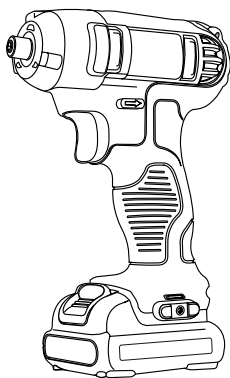


RYOBI

コンボキット

BCK-1100

取扱説明書



もくじ

■ 梱包明細	1
■ 安全上のご注意	2～7
■ 電池パック・充電器について	8～11
■ 充電式インパクトドライバ (BID-1100)	12～27
■ 充電式ドライバドリル (BD-1100)	28～43
■ 充電式小型レシプロソー (BSK-1100)	44～57
■ 充電式 LED ライト (BLL-1100)	58～64
■ 保守と点検	65～66



Li-ion

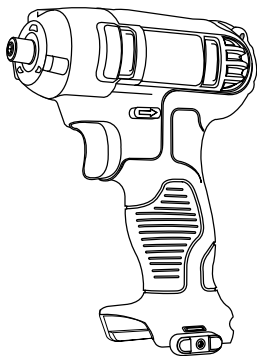
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

このたびは、リョービ コンボキットをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

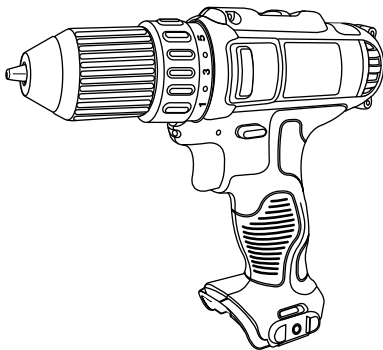
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

梱包明細

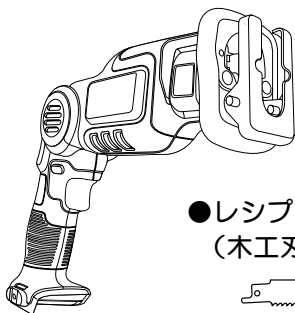
- 充電式インパクトドライバ : 1 台
(BID-1100)



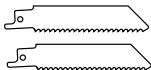
- 充電式ドライバドリル : 1 台
(BD-1100)



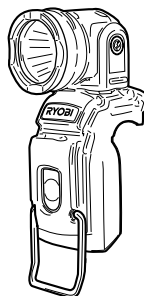
- 充電式小型レシプロソー : 1 台
(BSK-1100)



- レシプロソーブレード
(木工刃 / 鉄工刃) : 各 1 本



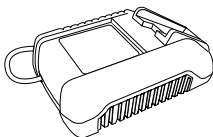
- 充電式 LED ライト : 1 台
(BLL-1100)



- 電池パック : 2 個
(B-1115L)



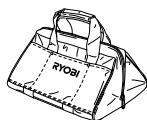
- 充電器 : 1 個
(BC-1100L)



- ベルトフック : 2 個



- 収納バッグ : 1 個



- 取扱説明書 : 1 冊
(本書)



安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△危険」と「△警告」と「△注意」に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。

△危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△危険」・「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

危険

安全作業のために：

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは火への投入、加熱をしないでください。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
 - ・ 電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

危険

5. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
6. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
7. 電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに直接接続しないでください。
 - ・ 高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。
8. 電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。
 - ・ 指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

警告

1. 正しく充電してください。
 - ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - ・ 温度が4℃以下、または温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
 - ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. 感電に注意してください。
 - ・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
4. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
5. 防音保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

警告

6. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
8. 不意な始動は避けてください。
 - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
12. ご使用済みの電池パックは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
13. 電池パックを電子レンジに入れないでください。
 - ・急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。
14. 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。
 - ・そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
15. 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・ 充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
14. 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
15. 電池パックは出荷前に若干量の充電をしておりますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。
16. 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。
 - ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。
17. 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。
 - ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注意

18. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・ サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・ 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。



Li-ion

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。リョービグループでは、希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっています。

不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

⚠ 注意

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分のショートにより発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

電池パック・充電器について

●仕様

●電池パック (B-1115L)

- ・電圧…………… DC 10.8V
- ・電池…………… リチウムイオン電池
- ・容量…………… 1,500mAh
- ・質量…………… 0.21 kg

●充電器 (BC-1100L)

- ・電源…………… AC 100V 50/60Hz
- ・定格出力電圧…………… DC 10.8V
- ・標準充電時間 ……45 分
- ・質量…………… 0.31kg

●充電について

危険

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
2. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

警告

1. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・温度 4℃以下、または温度が 40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。火災のおそれがあります。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。火災のおそれがあります。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。火災のおそれがあります。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。

電池パック・充電器について

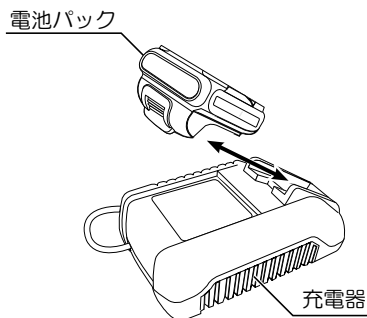
⚠ 注意

1. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

●充電方法

- ・充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。充電状態は充電器のランプで表示しています。(10 ページ 表 1)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
充電器のランプが点灯し、すぐに消えます。
2. 電池パックを充電器にさし込みます。
3. 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から抜取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・リチウムイオン電池は、電池パックの温度が4℃～40℃の間で充電できます。
- ・充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

(BC-1100Lランプ表示)

表 1

表示モード	ランプの表示	表示内容
充電中	— — — — —	充電している状態。
充電完了	—————	充電が完了した状態。
温度待機	— ● — ● — ● — ●	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	● ● ● ● ● ● ● ●	充電できない状態。 ・電池寿命または電池パックの故障が考えられます。

●電池パックについて

- ・本機に使用可能な電池パックは表2の通りです。お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、表2をご確認ください。

表 2

充電器		電池パック (10.8V)	リチウムイオン	
			B-1115L (1,500mAh)	B-1113L (1,300mAh)
標準 充電時間	BC-1100L		45分	40分
	UBC-1800L		25分	21分

●電池パックの保管について

⚠ 注意

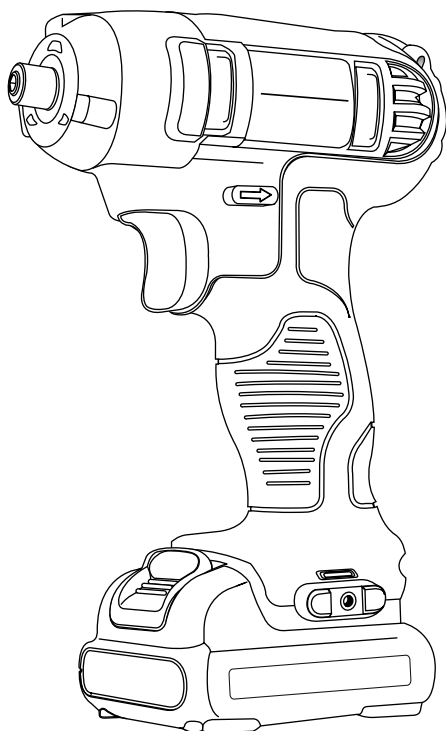
- ・電池残容量が少ない状態で放置しないでください。
- ・満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管してください。
- ・電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

●電池寿命について

- ・正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

充電式インパクトドライバ

BID-1100



もくじ

■ 充電式インパクトドライバ ご使用に際して	13 ~ 14
■ 各部の名称	15
■ 仕様・用途	16
■ 1回のフル充電あたりの作業量	16
■ 操作方法	17 ~ 23
■ 別販売品について	24 ~ 25

充電式インパクトドライバご使用に際して

充電式インパクトドライバをご使用の際には、つぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

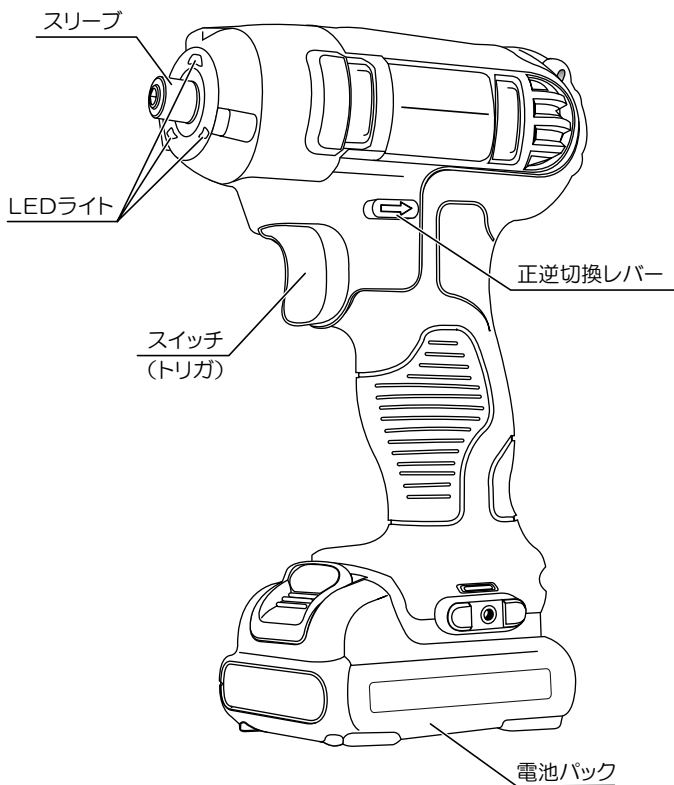
警告

1. 作業中、本体が振回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
2. 使用中は、工具類（ビットなど）などに手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 作業中、工具類（ビットなど）が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ビットなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
5. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・ 端子に金属類を接触させないでください。
 - ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
 - ・ 雨や水に濡らさないでください。
7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災のおそれがあります。
8. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
10. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手などの巻込まれるおそれのある手袋は使用しないでください。
 - ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の工具類（ビットなど）は非常に熱くなっているので、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
 - ・ 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

各部の名称



仕様・用途

●仕様

●本体

- ・無負荷回転数…………… 0 ～ 2,450 min⁻¹
- ・打撃数…………… 0 ～ 3,400 min⁻¹
- ・ネジ締め能力 小ネジ …………… M4 ～ M8
普通ボルト …………… M5 ～ M12
高力ボルト …………… M5 ～ M10
- ・最大締付トルク…………… 105 N・m
(M12 高力ボルト (強度区分 10.9) 締付時間 3 秒)
- ・電圧…………… DC 10.8 V
- ・本体寸法 ※ (長さ×幅×高さ) …………… 158 × 56 × 198 mm
- ・質量 ※…………… 1.0 kg

※ 電池パック (B-1115L) 取付時の値です。

●用途

- ・各種小ネジ、木ネジ、ボルト、ナットなどの締付け、ゆるめ。

1 回のフル充電あたりの作業量 (目安) (周囲温度 20℃)

- ※ ・表中の数値は参考値です。電池パックの電池容量および、材質、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。
- ・スイッチ (トリガ) をいっぱいに引いた状態での値です。

ネジ種類	ネジサイズ	材料	ネジ締数
木ネジ (径×長さ)	4.1mm × 38mm	ラワン	240 本
万能ビス	4.2mm × 60mm	米松	80 本
小ネジ	M8 × 16mm		720 本

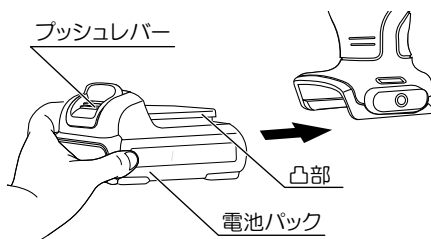
(1,500mAh 電池パック使用時)

操作方法

●電池パックの取付け、取外し

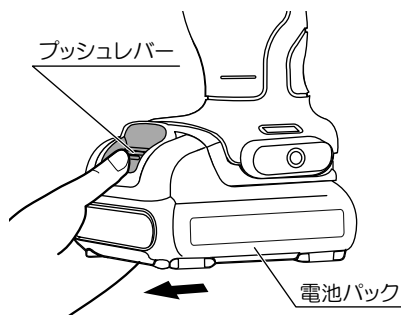
(取付け)

- ・本体のハンドル内部の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、『カチッ』と音がするまで押込みます。



(取外し)

- ・プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



●制御回路について

- ・本機には制御回路（保護機能）を搭載しています。本機使用中、スイッチ（トリガ）を引いた状態でも下記の場合、モーターが停止する場合があります。これは保護機能によるものであり、故障ではありません。
 - ① 電池残容量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
 - ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。いったんスイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
 - ③ 電池パックが過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。使用を中断し、本体から電池パックを取外して、電池を冷却してください。

●スイッチ操作

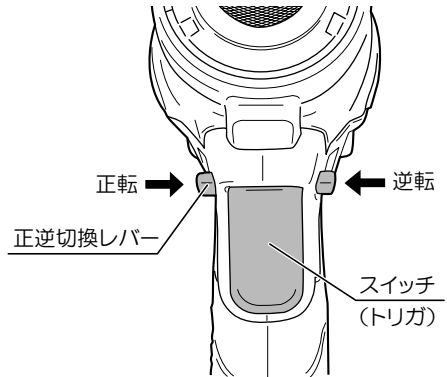
⚠ 警告

- ・トリガに指を掛けて運ばないでください。
不意な始動による、けがの原因になります。
- ・スイッチはトリガ（引金）方式です。
トリガを引くと入り、放すと切れます。
回転数はトリガの引き具合により
0～2,450min⁻¹の範囲で調整できます。



●正転・逆転の切換え

- ・スイッチ部の正逆切換レバーを操作して回転方向を切換えることができます。
- ・先端部は、正逆切換レバーを右図の正転の矢印方向に押すと正転（本体後方から見て右回転）、逆転の矢印方向に押すと逆転（本体後方から見て左回転）になります。
中央ではOFF となり、スイッチは入りません。
- ・保管、輸送、ビットの交換時には正逆切換レバーを中央（トリガの引けない）位置にセットしてください。
- ・正逆切換レバーは、モーターの回転が完全に止まった状態で操作してください。



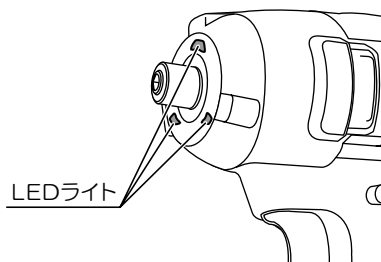
操作方法

● LED ライト（3灯式）

⚠ 警告

・ LED ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

- ・ 本機にはビットの先端を照らすための LED ライトが付いています。
- ・ トリガを引くと点灯し、放すと消えます。



- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさが低下する原因になります。
- ・ ライトレンズの清掃は、ガソリン、シンナーなどを使用しないでください。レンズを傷めます。

● ベルトフック

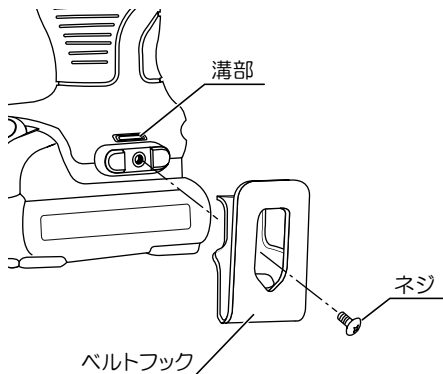
- ・ ベルトフックは左右どちら側にも取付け可能です。
- ・ ベルトフックの付換えは、次の要領で行ないます。

（取外し）

ネジをゆるめてベルトフックを取外します。

（取付け）

本体の溝部にベルトフックをさし込み、ネジを締付けて固定します。



●ビットの取付け、取外し

⚠ 警告

- ・ビットの取付け、取外しのときはスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

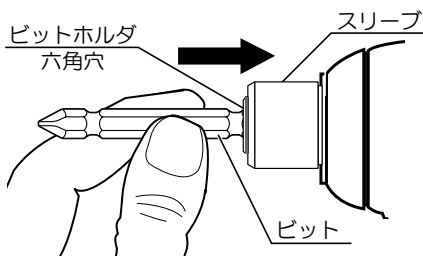
⚠ 注意

- ・ビットなどは取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・作業直後のネジ、ビット、スリーブなどは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。

(取付け)

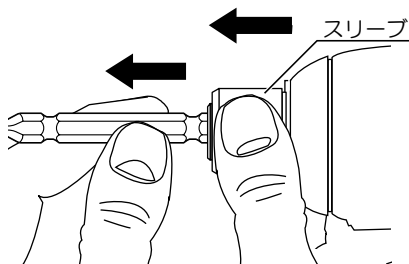
- ・本機はビットの取付けが簡単なワンタッチ機構付です。

- ・ビットの六角部をビットホルダの六角穴にまっすぐにさし込みます。ビットを軽く引っ張っても抜けを確認してください。



(取外し)

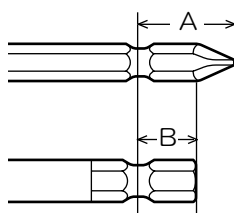
- ・スリーブを前方に引いた状態で、ビットを引抜いてください。



操作方法

(使用できるビットの寸法、形状)

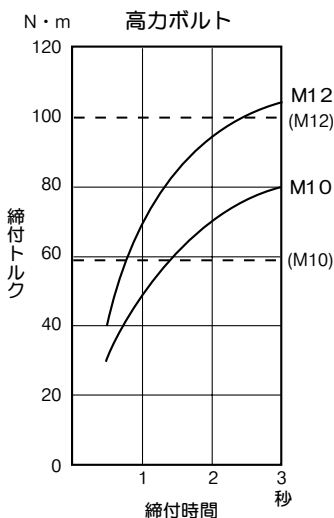
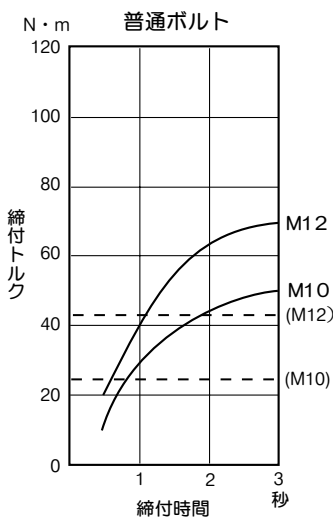
- ・本機に使用できるビットは取付部の寸法が A=16mm、B=13mm のものです。
市販品のビットで取付部の寸法が、A=11mm、B=9mm のものを使用する場合は、別販売品のビットピースを使用してください。
(P25『ビットピース』参照)



- ・ネジ・ボルトのサイズに合ったビットを使用してください。サイズの異なったビットを使用すると、適正な締付力が得られないだけでなく、ネジ・ボルトおよびビットを損傷します。
- ・ビットの先端および取付部の摩耗したものは使用しないでください。
- ・市販品のロングビットを使用した際、ビットの振れが目立つ場合があります。この場合、ビットホルダの六角穴に対して、ビットを回してさし込み直すことにより、振れ方が変わります。振れの一番少ない位置で使用してください。
- ・ビットの取付け部の寸法、形状が上記以外のもの、先端形状が⊖のビットなどは取付けできません。使用中にビットが外れてけがの原因になったり、ビットが抜けなくなったりする可能性がありますので、使用しないでください。

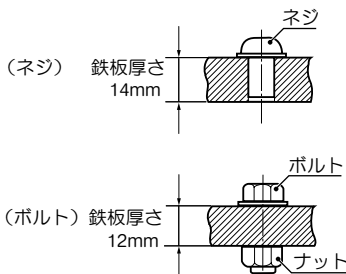
●締付トルクについて

- ・ネジ・ボルトの適正締付力は、材質やサイズ、締付物の状態などによって異なりますので、作業条件にあった締付時間で作業してください。
特に小径のネジ・ボルトの場合、締付時間が長すぎると、伸びたり、切れることがありますので、事前に締付時間と締付力を確認してから作業してください。
- ・ネジ・ボルトのサイズ毎の締付トルクを下図に示しますので参考にしてください。
尚、締付トルクは締付条件によって変化しますので、一応の目安としてください。
- ・締付トルクは電池パックの充電状態により変化します。完全放電状態に近くなると、打撃力が弱くなり、打撃数も少なくなって、急激に締付トルクが低下しますので、早めに電池パックの充電を行なってください。



ボルト締付トルク

締付条件



※ボルトは下記を使用しています。

普通ボルト：強度区分 4.8

高力ボルト：強度区分 10.9

強度区分の説明

4.8

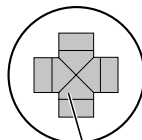
└─ ボルトの降伏点 320 N/mm²

└─ ボルトの引張り強さ 400 N/mm²

操作方法



- ・ 締付けるネジに対して本体をまっすぐに保持してください。本体が斜めになると、ネジの頭部を傷めることがあります。
- ・ 締付時は、ビットをネジ頭部にさし込んでずれない程度に押さえて締付けてください。
- ・ ⊕ビット No.1、No.2、No.3 はビット先端の十字部分の大きさを表しています。ネジのサイズにあったビットを使用してください。



この部分のサイズが異なる

●締付トルクに影響する要因

1. 電圧

電池パックが完全放電状態に近くなると電圧が降下し、締付トルクが低下します。

2. 締付時間

締付時間を長くすると締付トルクも増加しますが、一定時間を経過するとそれ以降締付トルクは増加しません。また、ネジ・ボルトの適正締付力は、材質・サイズ・等級などにより異なり、小径のネジ・ボルトを大きな締付力で締付けると伸びたり破断する可能性がありますので、ネジ・ボルトに合った締付時間、締付トルクで締付けてください。

3. 締付物が異なる場合

木材などの柔らかい材料にボルトを締付ける場合、鉄骨などの堅い材料に締付ける場合よりも締付トルクは大幅に低下します。

4. ネジ・ボルトの径が異なる場合

ネジ・ボルトの径が変わると締付トルクも変わります。一般に大きな径ほど締付トルクは高くなります。また、ネジ・ボルトのトルク係数・等級・長さなどによっても締付トルクは異なります。

5. トリガの引き具合

トリガの引込み量が少ない状態（フルパワーでない状態）で使用しますと、締付トルクは小さくなります。

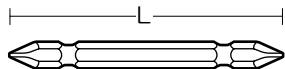
6. ドライバビット

ネジ・ボルトに合ったサイズのドライバビットを使用しない場合、締付トルクは低下します。

別販売品について

●各種ビット

●⊕ドライバビット



名称	L(mm)
No.1	45
	50 ※
	65
	110
No.2	45
	50
	65
	110
	250
No.3	45
	50 ※
	65
	110

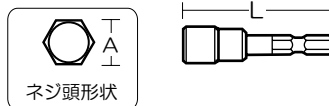
※は片頭

●⊖ドライバビット



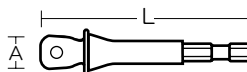
A(mm)	B(mm)	L(mm)
6.0	0.8	45
		70
6.35	1.0	50
		70
8.0	1.2	45
		70

●ソケットビット



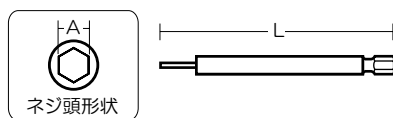
ネジ径	A(mm)	L(mm)
M3	6.0	55
M4	7.0	
M5	8.0	
	9.0	
M6	10	
M8	13	
	14	

●ソケットアダプタ



名称	A(mm)	L(mm)
3分	9.5	55
4分	12.7	70

●ヘキサゴンドライバビット



ネジ径	A(mm)	L(mm)
M4	3.0	100
M5	4.0	
M6	5.0	
M8	6.0	

●電池パック・充電器

- ・電池パック、充電器をお買い求めの際は、10 ページ『●電池パックについて』を参考にしてください。

別販売品について

●ビットピース

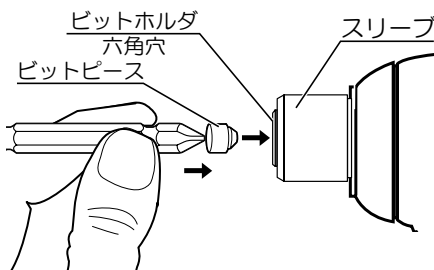
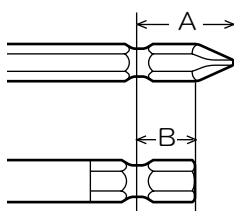
- ・市販品のビットで A=11mm、B=9mm のものを使用する場合は、ビットピースを使用してください。

※ビットピースを取付けないで無理に使用しないでください。作業中にビットが抜けたり、取外せなくなることがあります。

- ・別販売品の各種ビットは A=16mm、B =13mm のものですのでビットピースは不要です。

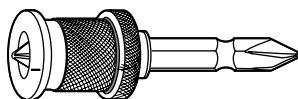
(使い方)

- ・ビットピースのとがった方からビットホルダの六角穴へ挿入します。次に、ビットの六角部を六角穴にまっすぐにさし込んでください。取外しは、スリーブを前方に引いた状態で、ビットとビットピースを抜取ってください。



●ビスアジャスタ

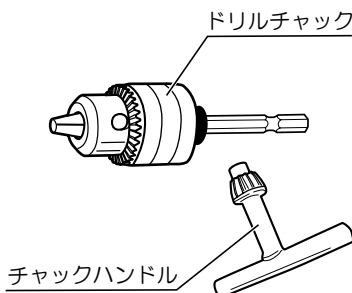
- ・ビスの深さ調整が自在にでき、クロス貼りや塗装仕上げの下地板（石膏ボード・コンパネ）などの取付け時のビスの打込みすぎを防ぎます。



●ドリルチャックセット

(ドリルチャック・チャックハンドル)

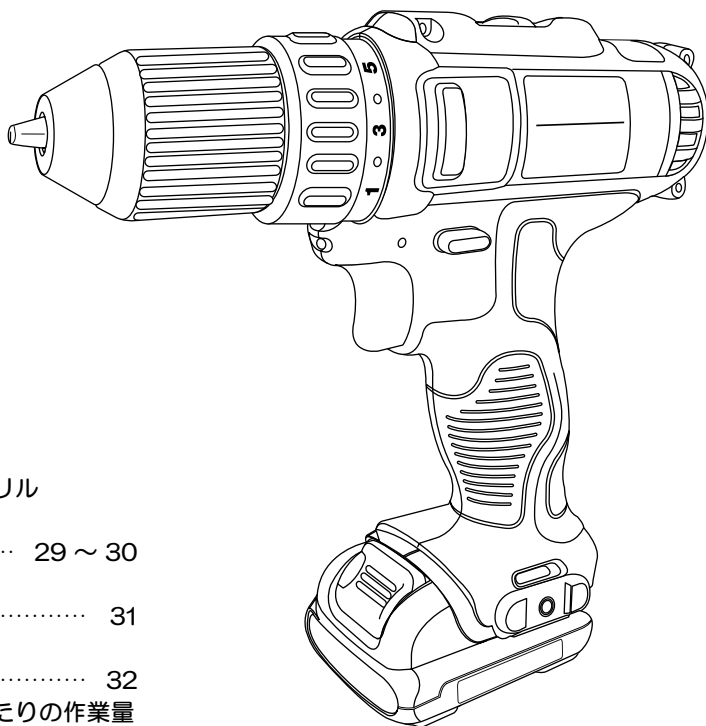
- ・ドリルチャックセットを使用するとドリルビットを取付けることができ、木材への穴あけができます。



— NOTE —

充電式ドライバドリル

BD-1100



もくじ

■充電式ドライバドリル ご使用に際して	29 ~ 30
■各部の名称	31
■仕様・用途	32
■1回のフル充電あたりの作業量	33
■操作方法	33 ~ 38
■作業方法	39 ~ 40
■別販売品について	41

充電式ドライバドリルご使用に際して

充電式ドライバドリルをご使用の際には、つぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

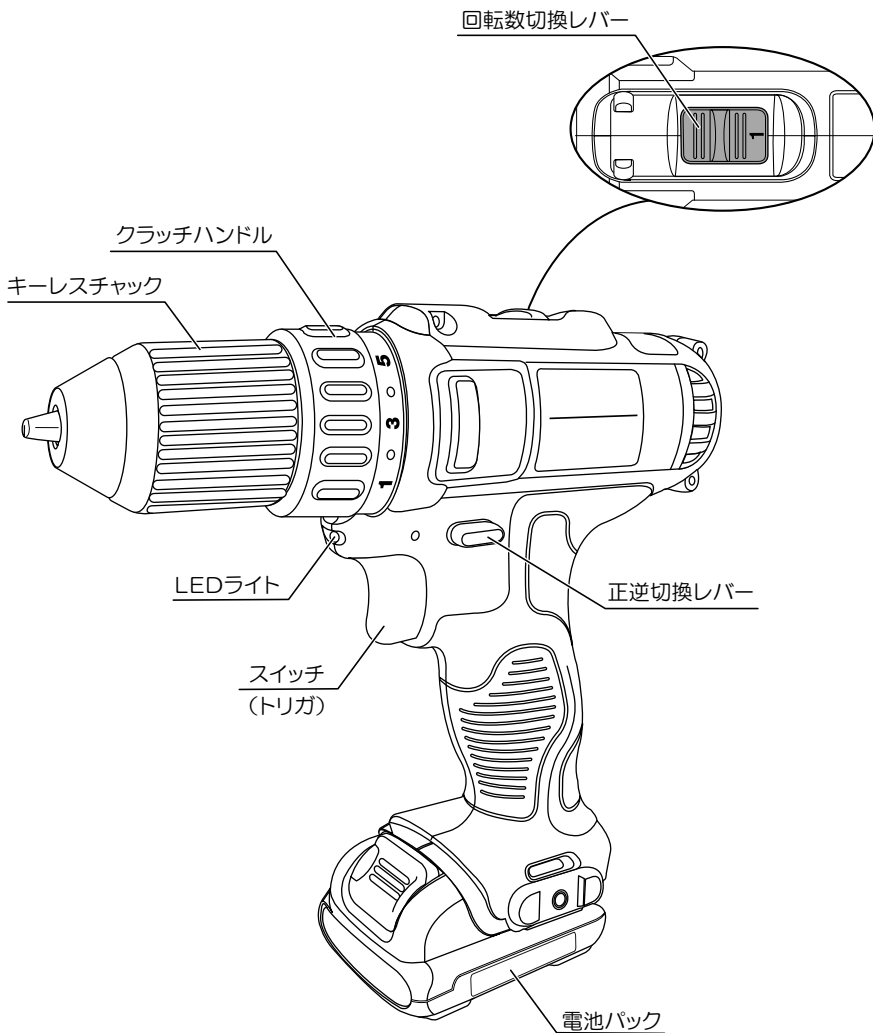
警告

1. 作業中、本体が振回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
2. 使用中は、工具類（ビットなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れのおそれがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ビットなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
5. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・ 端子に金属類を接触させないでください。
 - ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
 - ・ 雨や水に濡らさないでください。
7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災のおそれがあります。
8. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近づけないでください。
10. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手などの巻込まれるおそれのある手袋は使用しないでください。
 - ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
 - ・ 飛散して、けがの原因になります。
4. 作業直後の工具類（ビットなど）は非常に熱くなっているので、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
 - ・ 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

各部の名称



仕様・用途

●仕様

●本体

・無負荷回転数	高速（モード2）	0 ~ 1,500 min ⁻¹
	低速（モード1）	0 ~ 400 min ⁻¹
・穴あけ能力（径）	鉄工	10 mm
	木工	20 mm
・ネジ締め能力	木ネジ	φ 5.1 × 63 mm
	小ネジ	M6
・最大トルク	高速（モード2）	15 N・m
	低速（モード1）	24 N・m
・クラッチ数	15 段
・チャック把握径	1.5 ~ 10 mm
・電圧	10.8 V
・本体寸法 ※（長さ×幅×高さ）	192 × 59 × 201 mm
・質量 ※	1.1 kg

※ 電池パック（B-1115L）取付時の値です。

●用途

- ・各種木材、金属などの穴あけ。
- ・各種小ネジ、木ネジなどの締め付け、ゆるめ。

1回のフル充電あたりの作業量(目安) (周囲温度 20℃)

※・表中の数値は参考値です。電池パックの電池容量および、材質、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

・スイッチ(トリガ)をいっばいに引いた状態での値です。

用途		ドリル径 / ネジサイズ	材料	穴あけ数 / ネジ締数	
穴あけ	鉄工	6.5mm	鉄板 板厚 = 1.6mm	低速	90
	木工	18mm	米松 板厚 = 50mm	低速	40
ネジ締め (径×長さ)	木ネジ	4.2X32mm	米松	低速	120

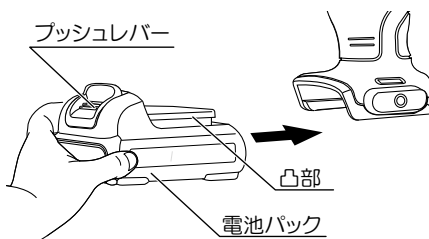
(1,500mAh 電池パック使用時)

操作方法

●電池パックの取付け、取外し

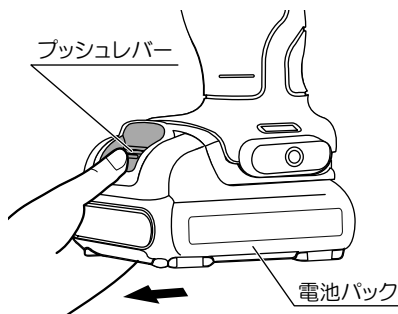
(取付け)

- ・本体のハンドル内部の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、『カチッ』と音がするまで押込みます。



(取外し)

- ・プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



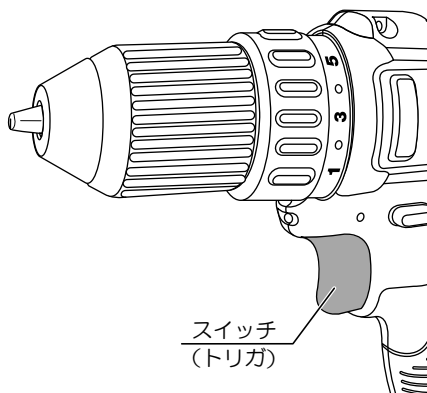
●制御回路について

- ・本機には制御回路（保護機能）を搭載しています。
本機使用中、スイッチ（トリガ）を引いた状態でも下記の場合、モーターが停止する場合があります。これは保護機能によるものであり、故障ではありません。
 - ① 電池残容量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
 - ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。いったんスイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
 - ③ 電池パックが過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。使用を中断し、本体から電池パックを外して、電池を冷却してください。

●スイッチ操作

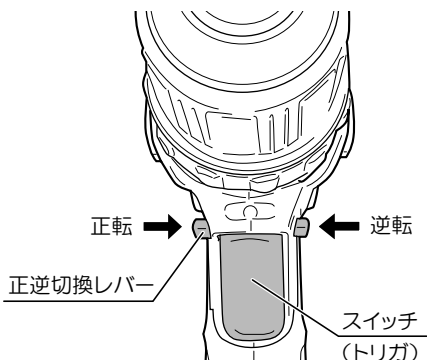
⚠ 警告

- ・トリガに指を掛けて運ばないでください。
不意な始動による、けがの原因になります。
- ・スイッチはトリガ（引金）方式です。
トリガを引くと入り、放すと切れます。
回転数はトリガの引き具合により 0 ~ 1,500min⁻¹（高速）、0 ~ 400min⁻¹（低速）の範囲で調整できます。



●正転・逆転の切換え

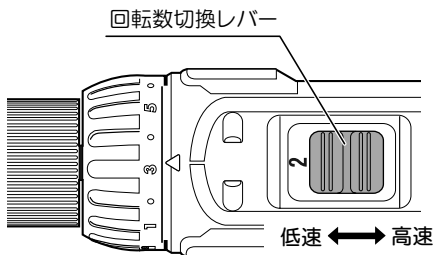
- ・スイッチ部の正逆切換レバーを操作して回転方向を切換えることができます。
- ・先端部は、正逆切換レバーを右図の正転の矢印方向に押しと正転（本体後方から見て右回転）、逆転の矢印方向に押しと逆転（本体後方から見て左回転）になります。
中央ではOFF となり、スイッチは入りません。
- ・保管、輸送、ビットの交換時には正逆切換レバーを中央（トリガの引けない）位置にセットしてください。
- ・正逆切換レバーは、モーターの回転が完全に止まった状態で操作してください。



操作方法

●回転数の切換え

- ・用途に応じて回転数を高速、低速の2段階に切換えることができます。
- ・回転数を切換える場合は、本体上部の回転数切換レバーをスライドさせてください。
低速……1が見える状態
高速……2が見える状態
- ・回転数切換レバーは、モーターの回転が完全に止まった状態で操作してください。



木材に大径の穴あけをする場合は、低速で使用してください。

●クラッチハンドルの切換え

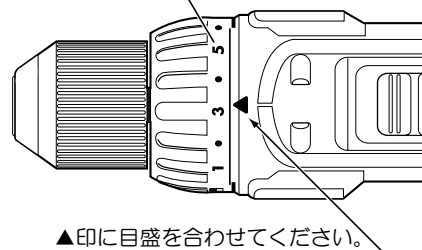
- ・穴あけ作業の場合、クラッチハンドルのドリルマーク(⚡)を本体の▲に合わせます。



クラッチハンドルがドリルマーク(⚡)位置の場合、クラッチは作動しません。(直結)

- ・ネジなどの締付け作業の場合、対象物やネジ径に合わせてクラッチハンドルを回し、トルクを選定してください。
締付トルクはクラッチ位置1→15の順に強くなります。

クラッチハンドル



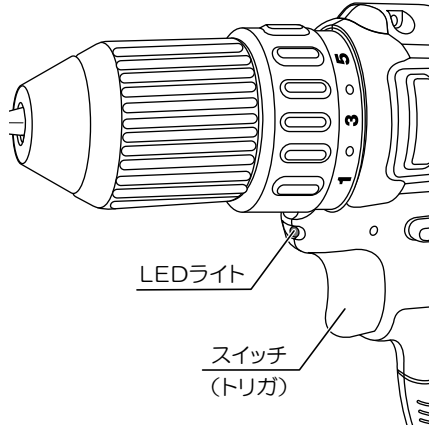
- ・作業前には、不要材などで試し作業を行ない、作業に合ったクラッチ位置を決めてください。
- ・モーターの回転が停止するような使用は負荷のかけ過ぎです。モーターおよび電池パックの寿命を著しく短くする原因となりますので、モーターの回転は停止させないように使用してください。

● LED ライト

⚠ 警告

・ LED ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

- ・ 本機にはビットの先端を照らすための LED ライトが付いています。
- ・ トリガを引くと点灯し、放すと消えます。



- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさが低下する原因になります。
- ・ ライトレンズの清掃は、ガソリン、シンナーなどを使用しないでください。レンズを傷めます。

● ベルトフック

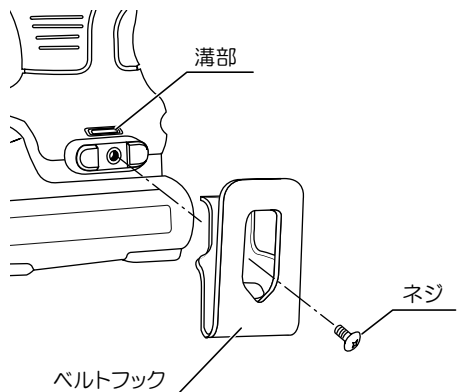
- ・ ベルトフックは左右どちら側にも取付け可能です。
- ・ ベルトフックの付換えは、次の要領で行ないます。

(取外し)

ネジをゆるめてベルトフックを取外します。

(取付け)

本体の溝部にベルトフックをさし込み、ネジを締付けて固定します。



操作方法

●ビット、キリの取付け、取外し

⚠ 警告

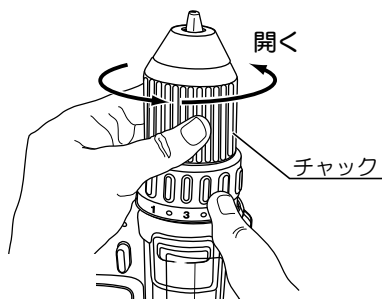
- ・ビットやキリの取付け、取外しのときはスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

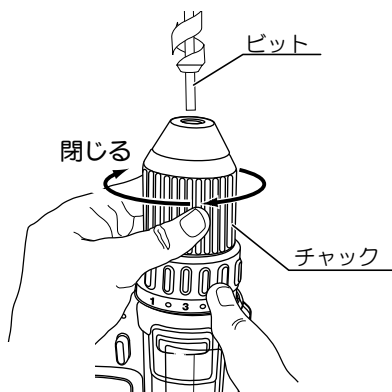
- ・ビットやキリなどは取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・作業直後の工具類（ビットなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。

（取付け）

- ・本機はスピンドルロック機構を採用しています。チャックの開閉操作が容易に行なえます。
- ・チャックを右図の矢印『開く』方向に回してビットまたはキリの取付け軸の太さまでチャックのツメを開きます。



- ・ビットまたはキリをチャックに挿入後、チャックを右図の矢印『閉じる』方向に回してツメを閉じてビットまたはキリを締付けます。もし、作業中にチャックがゆるんだときは、さらに強く締付けてください。



- ・ビットまたはキリはチャックの奥に当たるまでさし込んでください。
細径のキリの場合は、奥に当たるまでさし込むとキリ部分をつかむため、その場合はキリのシャンク部分をつかんでください。



- ・周囲の安全を確かめた後、電池パックを本体に取付け、低速で少し動かし、ビットまたはキリにプレがないことを確認してください。プレがあるときは、チャックの回転軸(ツメの中央)にビットまたはキリが納まっていません。再度電池パックを本体から取外し、ビットまたはキリを取付け直してください。
- ・チャックは構造上締付けるとツメが前にでてきます。ツメに無理な力を与えると精度が悪化したり、破損したりする恐れがありますので取扱いには注意してください。

(取外し)

- ・取外しは、取付けと逆の要領で行なってください。

作業方法

⚠ 警告

- ・作業中、本体が振回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・使用中は、工具類（ビットなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。


⚠ 注意

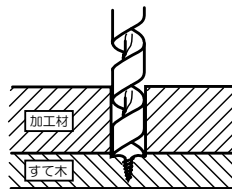
- ・工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実に取付けていないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・作業直後の工具類（ビットなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。




本機には制御回路（保護機能）を搭載しています。そのため過負荷状態で使用するとモーターが停止する場合があります。これは保護機能によるものであり、故障ではありません。この場合、一旦スイッチを切り、過負荷の原因を取除いてください。再度、スイッチ（トリガ）を引くと使用できます。

●木材などへの穴あけ

- ・木工キリを使用してください。（小径の穴あけには鉄工キリを使用してください。）
- ・クラッチハンドルのドリルマーク（)を本体の▲に合わせます。
- ・キリ先を穴あけ位置に当て、まっすぐに保ったのちスイッチを入れます。
- ・切削くずがスムーズにでる程度にキリを押してください。
無理に力を入れても穴は早くあきません。
- ・裏側に不要な木材（すて木）を当て、一緒にあけると裏側もきれいに仕上がります。



●金属などへの穴あけ

- ・鉄工キリを使用してください。
- ・クラッチハンドルのドリルマーク（)を本体の▲に合わせます。
- ・鉄工キリを使って穴をあけるときは、穴あけ位置へセンターポンチ（市販品を利用してください。）を打つとキリの先が逃げず、正確な位置に穴あけができます。
- ・金属への穴あけの場合は、鉄工キリの切れ味と耐久性を維持するため市販品の切削油（切削オイル、ギヤオイル、ミシン油など）の使用をお勧めします。

●ネジ締め・ゆるめ

- ・ネジの頭にあったドライバビットを使用してください。サイズの異なったビットを使用するとネジ頭部を破損したり、十分なネジ締めができません。
- ・ネジの大きさ、対象物の材質に合わせて、クラッチハンドルを回してトルクを調節してください。
- ・小径のネジ締めや、柔らかい材料へのネジ締めの際は、ネジの頭部やネジ山、対象材の破損に注意してください。適正なトルクがよくわからない場合には、クラッチハンドルをトルクの弱い位置から順に強くして適正なトルクを探してください。
- ・径の大きいネジ締めや対象物が硬い場合などは、先に下穴をあけてから、ネジ締めをしてください。材料に割れが入ったりせず、作業が楽にできます。

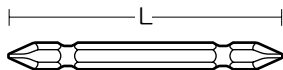
●使用直後は

- ・回転が止まってから台や床などに置いてください。

別販売品について

●各種ビット

●⊕ドライバビット



名称	L(mm)
No.1	45
	50 ※
	65
	110
No.2	45
	50
	65
	110
	250
No.3	45
	50 ※
	65
	110

※は片頭

●⊕ドライバビット



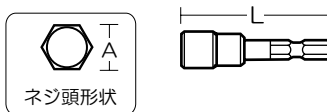
A(mm)	B(mm)	L(mm)
6.0	0.8	45
		70
6.35	1.0	50
		50
8.0	1.2	45
		70

●⊕⊕ドライバビット



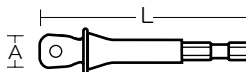
名称	A(mm)	B(mm)	L(mm)
(+) No.2/ (-) 6.35×1.0×50	6.35	1.0	50
(+) No.2/ (-) 6.35×1.0×65	6.35	1.0	65

●ソケットビット



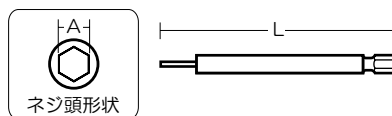
ネジ径	A(mm)	L(mm)
M3	6.0	55
M4	7.0	
M5	8.0	
	9.0	
M6	10	
M8	13	
	14	

●ソケットアダプタ



名称	A(mm)	L(mm)
3分	9.5	55
4分	12.7	70

●ヘキサゴンドライバビット



ネジ径	A(mm)	L(mm)
M4	3.0	100
M5	4.0	
M6	5.0	
M8	6.0	

●ドリルセット13本組

(φ1.5mm, φ2mm, φ2.5mm, φ3mm, φ3.2mm, φ3.5mm, φ4mm, φ4.5mm, φ4.8mm, φ5mm, φ5.5mm, φ6mm, φ6.5mm)

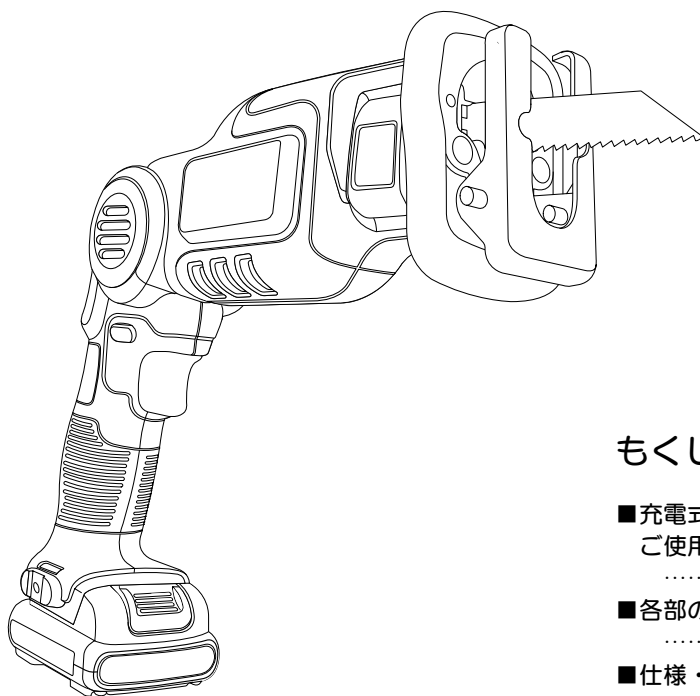
●電池パック・充電器

・電池パック、充電器をお買い求めの際は、10 ページ『●電池パックについて』を参考にしてください。

— NOTE —

充電式小型レシプロソー

BSK-1100



もくじ

■ 充電式小型レシプロソー ご使用に際して	45 ~ 46
■ 各部の名称	47
■ 仕様・付属品・用途	48
■ 1回のフル充電あたりの作業量	49
■ 操作方法	49 ~ 52
■ 作業方法	53 ~ 54
■ 別販売品について	55 ~ 56

充電式小型レシプロソーご使用に際して

充電式小型レシプロソーをご使用の際には、つぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
2. 使用中は工具類（ブレードなど）や切り屑に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 使用中、工具類（ブレードなど）が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどのおそれがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
 - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ブレードなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
5. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでブレードが、はさみ付けられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ブレードがはさみ付けられると、けがの原因になります。
7. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・端子に金属類を接触させないでください。
 - ・釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
 - ・雨や水に濡らさないでください。
8. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
9. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

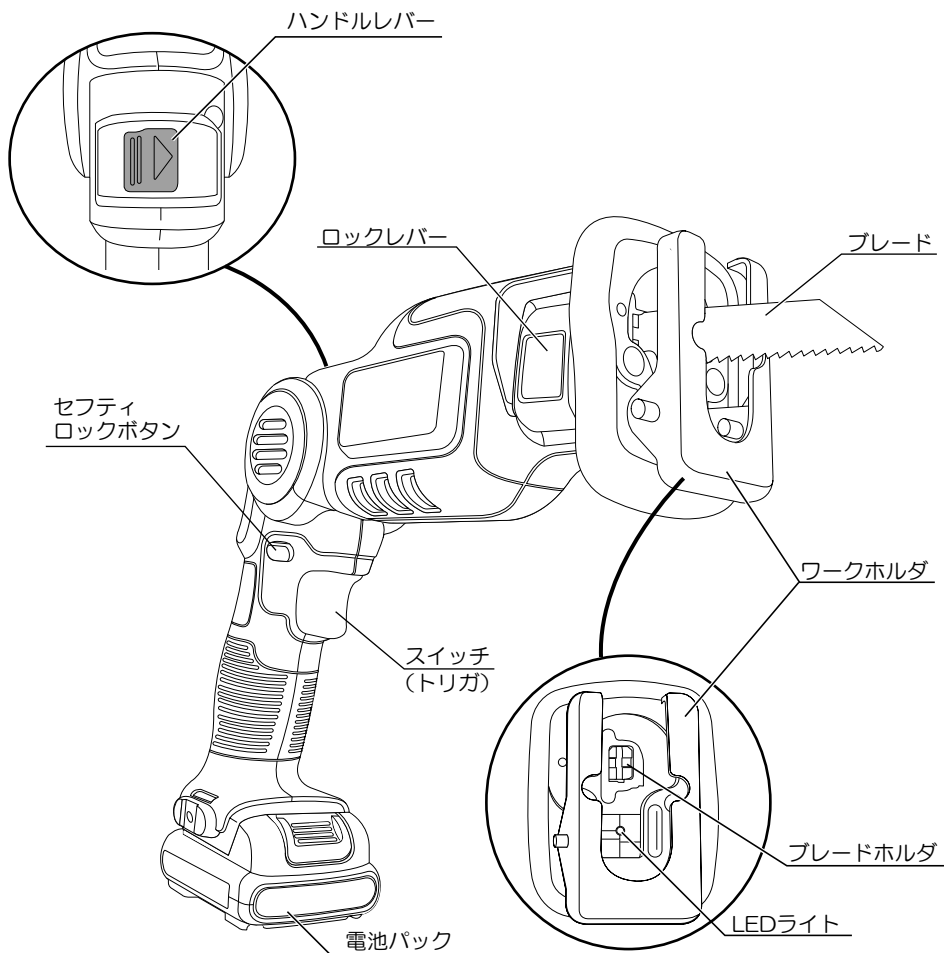
警告

10. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
11. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 工具類（ブレードなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたり、けがの原因になります。
2. 工具類（ブレードなど）の交換は手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 作業直後の工具類（ブレードなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているため、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
 - ・ 材料や本体など落としたとき、事故の原因になります。
5. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
7. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

各部の名称



仕様・付属品・用途

●仕様

●本体

- ・無負荷ストローク数…………… 0～2,700 min⁻¹
- ・ストローク量…………… 14 mm
- ・切断能力 木材（厚さ）…………… 50 mm
塩ビパイプ（径）…………… 50 mm
鋼管（径）…………… 25 mm
- ・電圧…………… DC 10.8 V
- ・本体最大寸法 ※（長さ×幅×高さ）…………… 325 × 64 × 264 mm
- ・質量 ※…………… 1.4 kg

※ 電池パック（B-1115L）取付時の値です。

●付属品

- ・レシプロソーブレード（木工用）…………… 1
- ・レシプロソーブレード（鉄工用）…………… 1



付属品のレシプロソーブレードは別販売品として販売しておりません。
交換用のブレードは、別販売品の下記ブレードをお買い求めください。
木工用ブレード …… No.76
鉄工用ブレード …… No.82

●用途

- ・パイプ、アングル、サッシ、ALCなどの切断 ※
- ・各種木材、合成樹脂の切断
- ・軟鋼、アルミなど各種金属の切断 ※

※ 別途専用のブレードが必要です。

用途に応じてブレードをお買い求めください。（55 ページ参照）

1回のフル充電あたりの作業量(目安) (周囲温度 20℃)

- ※・表中の数値は参考値です。電池パックの電池容量および、材質、ブレードの切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。
- ・スイッチ(トリガ)をいっばいに引いた状態での値です。

被削材	サイズ	使用ブレード	切断量
鋼管	(径) 25mm × (厚さ) 1.2mm	鉄工用(付属品)	30カット
米松	(幅) 60mm × (厚さ) 15mm	木工用(付属品)	171カット

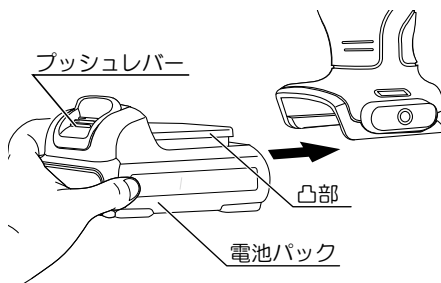
(1,500mAh 電池パック使用時)

操作方法

●電池パックの取付け、取外し

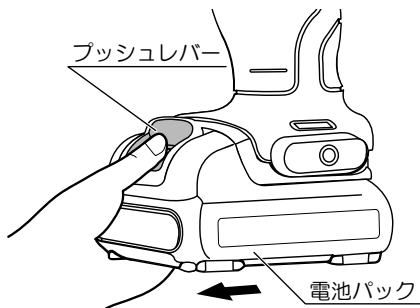
(取付け)

- ・本体のハンドル内部の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、『カチッ』と音がするまで押し込みます。



(取外し)

- ・プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



●制御回路について

- ・本機には制御回路（保護機能）を搭載しています。
本機使用中、スイッチ（トリガ）を引いた状態でも下記の場合、モーターが停止する場合があります。これは保護機能によるものであり、故障ではありません。
 - ① 電池残容量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
 - ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。いったんスイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
 - ③ 電池パックが過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。使用を中断し、本体から電池パックを外して、電池を冷却してください。

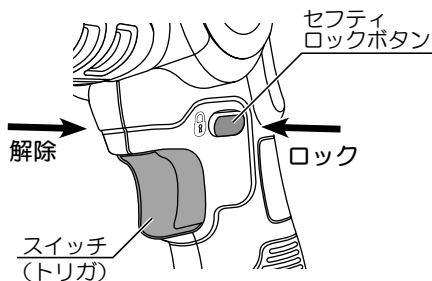
●スイッチ操作

⚠ 警告

- ・近くに人がいないことを確認してからスイッチ操作を行なってください。
- ・ブレードなどの可動部には手や顔などを近づけないでください。けがや事故の原因になります。

●セフティロックボタンについて

- ・本機は不意な始動を防ぐため、セフティ機能を搭載しています。
セフティロックボタンを矢印（ロック）方向に押し、トリガがロックされ、スイッチが入らなくなります。移動時や保管時はトリガをロックしてください。
矢印（解除）方向に押し、解除されます。



●スイッチの入 / 切

- ・セフティロックボタンを解除した状態で、トリガを引くとスイッチが入ります。
トリガから指を放すと切れます。

●ストローク数の調整

- ・トリガの引き具合によりストローク数を 0～2,700min⁻¹ の範囲で調整できます。
- ・低速で長時間の連続作業は、モーターに無理がかかり、モーター焼損の原因になります。特に切中断中、ブレードが停止するような無理な使い方はしないでください。

操作方法

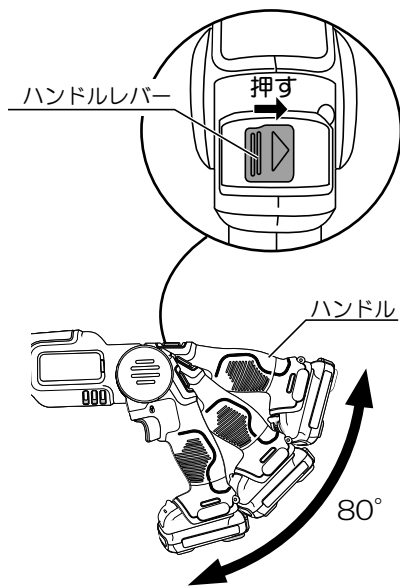
●ハンドルの位置調節

・ハンドルは作業場所、作業姿勢に合わせ3段階に角度を調節できます。

・ハンドルレバーを矢印方向に押した状態でハンドルを動かして、お望みの位置に合わせてください。



ハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。



●LEDライト

⚠ 警告

・LEDライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。LEDライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

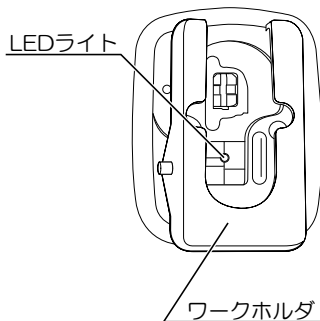
・本機には暗い場所でも切断位置が確認できるLEDライトが付いています。

・トリガを引くと点灯し、放すと消えます。



・ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさが低下する原因になります。

・ライトレンズの清掃は、ガソリン、シンナーなどを使用しないでください。レンズを傷めます。



●ブレードの取付け、取外し

⚠ 警告

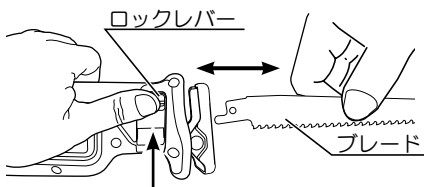
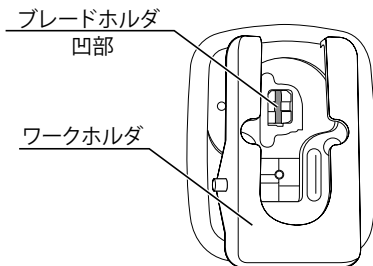
- ・ブレードの取付け、取外しのときはスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・付属品および別販売品以外のブレードは使用しないでください。刃物が大きく振れ、けがをしますおそれがあります。

⚠ 注意

- ・作業直後のブレードは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。

(取付け)

- ・本機はブレードの取付けが簡単なワンタッチ機構付です。
- ・ロックレバーを引上げ、ブレードの刃部に注意しながら、ブレードをブレードホルダの凹部にさし込みます。
- ・ロックレバーを戻し、ブレードを固定します。ブレードを引っ張って抜けないことを確認してください。



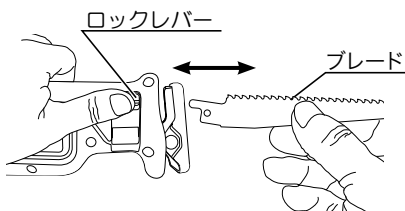
(取外し)

- ・ロックレバーを引上げ、ブレードの刃部に注意しながら、ブレードを引抜きます。

作業状況によりブレードの歯側を上向きに取付けることも可能です。

54 ページ参照

壁に向かっての切断 / 垂直切断



作業方法

警告

- ・加工材をしっかり固定してください。加工材を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
- ・使用中、ブレードが電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどのおそれがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。埋設物に触れると事故の原因になります。
- ・使用中はブレードや切り屑に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでブレードが、はさみ付けられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ブレードがはさみつけられると、けがの原因になります。

注意

- ・作業直後のブレード、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。
- ・連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。やけどの原因になります。



- ・加工材に適したブレードを使用してください。
ブレードの先端が常に加工材より出ている（ストローク量以上）ものを選んでください。ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たってブレードを折損するおそれがあります。
- ・予備の電池を使用して連続作業をされる場合は、本機を 15 分以上休止させてください。

- ・加工材にワークホルダを当て材料とブレードがばたつかないように注意して、ゆっくりスイッチを入れ、ブレードが切断位置に位置決めできたら徐々にスピードを速くします。
- ・金属切断の場合は、適当な切削油（マシン油など）を使用してください。ブレードの寿命に大きく影響します。
- ・加工材にブレードを当てゆっくりと切断を始めれば位置決めが楽に行なえます。

●使い方のコツ

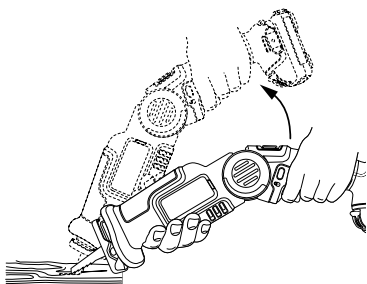
- ・手鋸と同じく本体を引き切り（前後動）のように動かすことで刃物の目に詰まった屑が落ち、効率よくスピーディに切断できます。

既存のレシプロソーと同じ感覚で本体を押さえつけただけではすぐに刃物の目に屑が詰まり切断スピードが遅くなります。

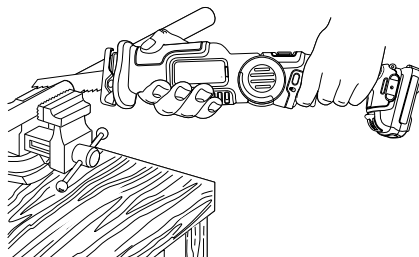
また、引き切りのスペースが無い狭い所では切断幅の手元側と奥側を交互に押さえるように動作をすることで、目に詰まった屑を落としながら切断していきます。

●作業例

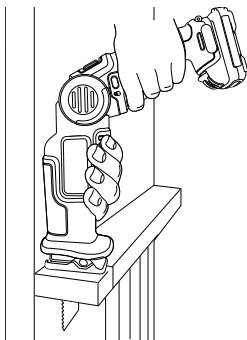
● 狭所作業（上下運動）



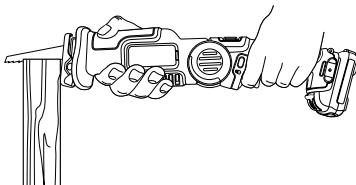
● パイプ切断



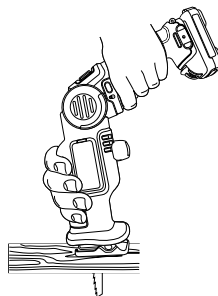
● 壁に向かっての切断



● 水平切断




● 垂直切断



別販売品について

●レシプロソーブレード（レシプロソー刃）

本機に使用できるブレードは下記の通りです。用途に合わせてお買い求めください。

	<ul style="list-style-type: none"> ・加工材に適したブレードを使用してください。 ・常に切れ味の良いブレードを使用してください。 ・シグソーブレードは使用できません。
---	---

※標記している切断能力は刃物の能力です。

用途・特長		切断能力* (mm)								全長 (mm)	山数 (1インチ 当り)	刃渡り (mm)	商品名(材質) 形状
		パイプ材				板材							
		パイプ径	ステンレス	軟鋼	塩ビ	ステンレス	軟鋼	アルミ	塩ビ				
鉄 工 ・ ス テ ン レ ス 用	ステンレス・軟鋼材用 長寿命 バイメタルブレード	50以下	3以下	3.5以下	2~10	1~3	1~3	5以下	10以下	101	24	75	No.79 (バイメタル) 
		75以下								152		126	No.80 (バイメタル) 
		130以下								228		203	No.81 (バイメタル) 
		50以下								101		75	No.82 (バイメタル) 
		75以下	152	126	No.83 (バイメタル) 								
		130以下	228	203	No.84 (バイメタル) 								
		160以下	254	233	No.85 (バイメタル) 								
						2~15	2~3	2~6	5~20	5~30	18		

※標記している切断能力は刃物の能力です。

用途・特長		切断能力* (mm)					全長 (mm)	山数 (1インチ 当り)	刃渡り (mm)	商品名(材質) 形状
		木材	塩ビなど			ALC				
			パイプ材		板材					
			厚さ	パイプ径						
木 工 合 成 樹 脂 用	荒切、窓開け加工用	90以下	90以下	3~15	5~30		165	9	145	No.53 (SK材) 
	木工曲線、 窓開け加工用	30以下	30以下		5~30		75	9	55	No.67 (SK材) 
木 工 リ フ ォ ー ム 用	釘入木材の加工や ALC切断、 長寿命バイメタルブ レード	50以下			10~30	50以下	101	6	75	No.76 (バイメタル) 
		75以下	75以下	2.2~15	5~30	75以下	152	10	126	No.77 (バイメタル) 
		175以下	175以下	2.2~15	5~30	175以下	305	10~14	※	280

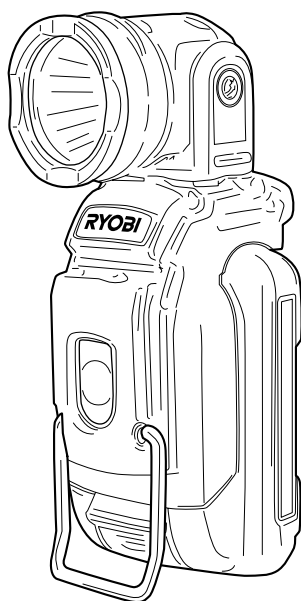
※ 10山と14山のコンビネーションブレード

●電池パック・充電器

- ・電池パック、充電器をお買い求めの際は、10 ページ『●電池パックについて』を参考にしてください。

充電式 LED ライト

BLL-1100



もくじ

■ 充電式 LED ライトご使用に際して	59 ~ 60
■ 各部の名称・仕様	61
■ 操作方法	62 ~ 64
■ 別販売品について	64

充電式 LED ライトご使用に際して

充電式 LED ライトをご使用の際には、つぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

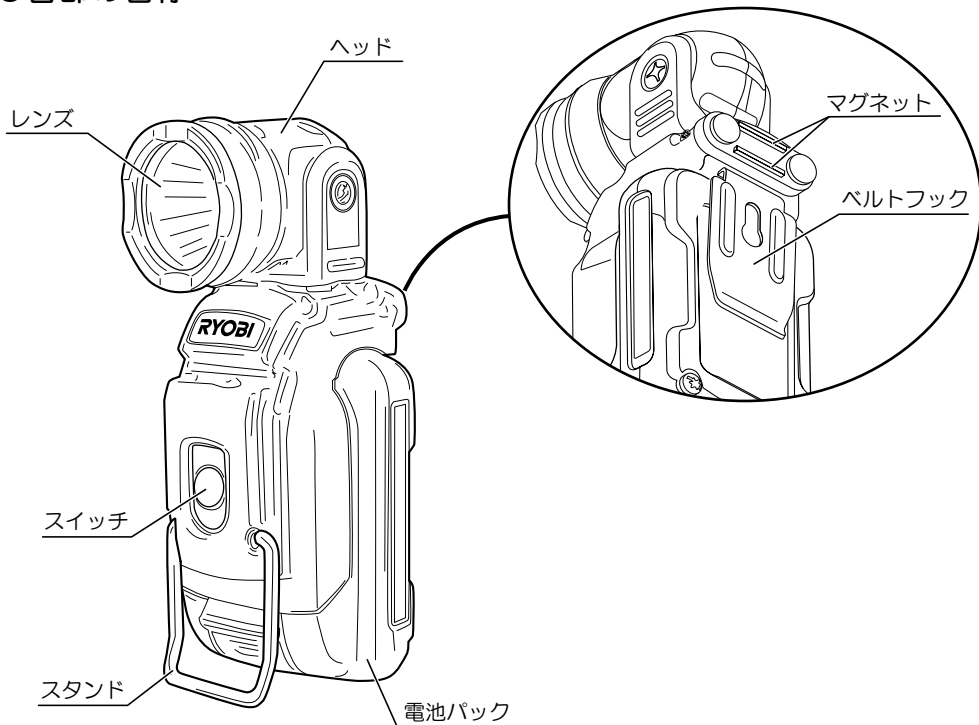
1. 使用中は本体に布や紙などをかぶせないでください。
 - ・ 発熱して火災、やけどの原因になります。
2. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがや火災の原因になります。
3. 使用中、本体の調子が悪いときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがや火災の原因になります。
4. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・ 端子に金属類を接触させないでください。
 - ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
 - ・ 雨や水に濡らさないでください。
5. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災のおそれがあります。
6. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・ 綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
7. 充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けしないでください。
8. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 振動や衝撃のある場所に設置して使用しないでください。
 - ・ けがや破損の原因になります。
2. 高所に置いて使用する場合は、安定した場所に置いてください。また、吊下げて使用する場合は、ひもなどで固定してください。
 - ・ 落下して、けがや破損の原因になります。
3. 目に光を当てないでください。
 - ・ 目をいためる原因になります。
4. 使用しない場合は、スイッチを入れたままにしないでください。
 - ・ 電池パックの寿命（充電回数）を短くする原因になります。

各部の名称・仕様

●各部の名称



●仕様

●本体

- ・連続使用時間 ※1..... 約 4 時間
- ・照度 ※2..... 6,400 ルクス
- ・首振り角度（前後 / 左右）..... 各 0° ~ 180°
- ・電圧..... DC 10.8V
- ・本体寸法 ※3（長さ）..... 150mm
- ・質量 ※1..... 0.37kg

※1 電池パック (B-1115L) 取付時の値です。

※2 本体から 1m の距離で測定

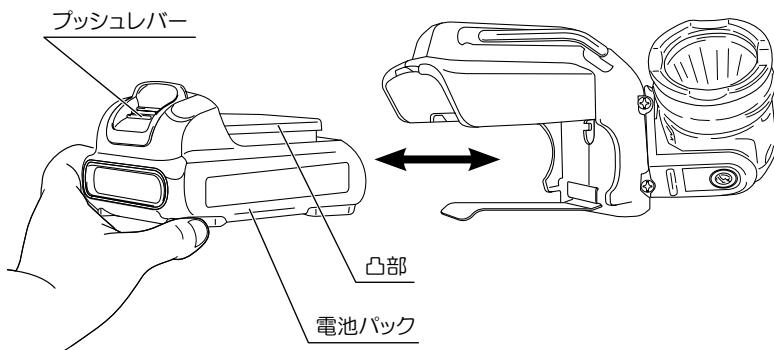
※3 スタンドで直立させた状態

操作方法

●電池パックの取付け、取外し

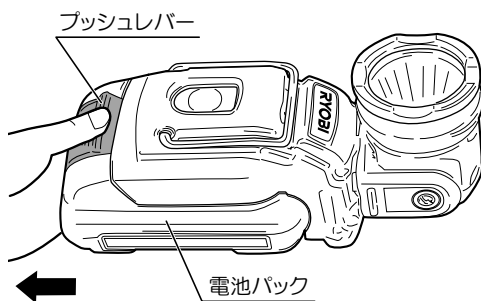
(取付け)

- ・ 本体のハンドル内部の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、『カチッ』と音がするまで押し込みます。



(取外し)

- ・ プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



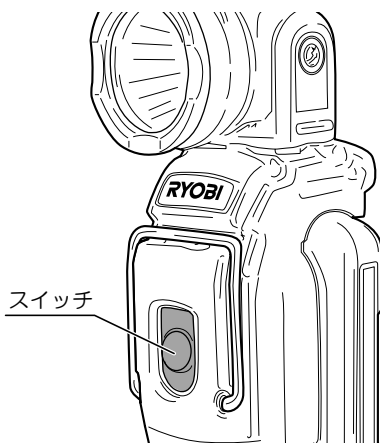
●電池保護回路について

- ・ 本機には電池を保護するための回路を搭載しています。電池残容量が少なくなった場合、電池が過放電して劣化するのを防止するために回路を遮断します。保護回路が作動し消灯した場合、電池パックを本体から取外し、充電を行なってください。

操作方法

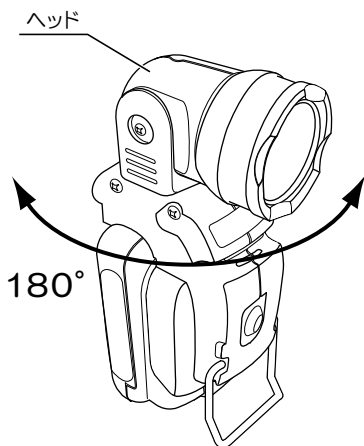
●スイッチ操作

- ・スイッチを押すと点灯します。
- 再び、スイッチを押すと消灯します。

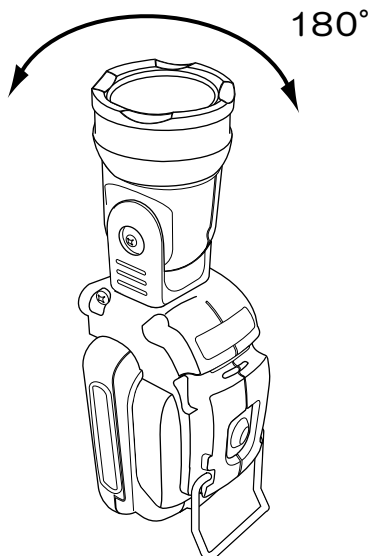


●首振り角度の切換え

- ・ヘッド部は使用用途、作業場所、作業姿勢に合わせて照射角度を調節できます。
- ・ヘッド部は前後と左右に最大 180° まで回転できます。
- ・切換えは、ヘッド部を持って調節してください。



(左右)



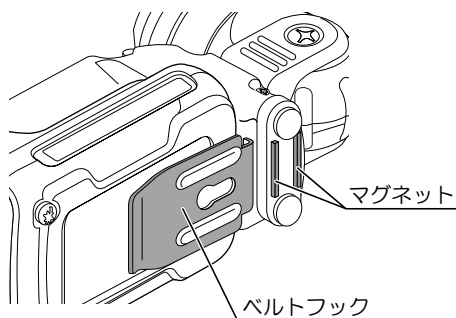
(前後)

●マグネット・ベルトフック

- ・使用場所や使用状況に応じ、マグネット、ベルトフックを使用してください。



安定した場所に取り付けてください。
本機を落としたとき、けがや破損の原因になります。

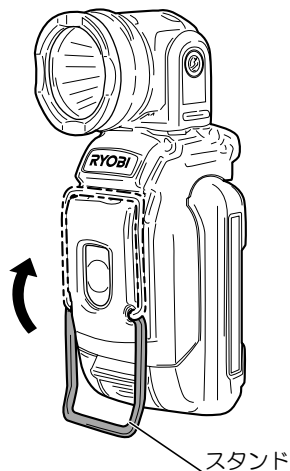


●スタンド

- ・スタンドを図のように取出すと本機を立てたり、吊下げて使用できます。
- ・使用しないときは、スタンドを矢印方向に折りたたんでください。

⚠ 注意

- ・吊下げて使用する場合は、ひもなどで固定してください。
- ・本機を落としたとき、けがや破損の原因になります。



別販売品について

●電池パック・充電器

- ・電池パック、充電器をお買い求めの際は、10 ページ『●電池パックについて』を参考にしてください。

保守と点検

警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

●ビットの交換

- ・先端部が摩耗したり折損したビットを使用すると、ネジ頭を傷めます。早めに交換してください。
- ・先端部が摩耗したり折損したキリを使用すると能率が悪いばかりか、モーターに無理な力がかかることとなります。早めに交換してください。

●ブレードについて

- ・ブレードは常に切れ味の良いものを使用してください。切れないブレードを使用すると作業能率が悪いばかりでなく、モーターが過負荷状態になり、故障の原因となります。早めに交換してください。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管は禁止する。
 - d. - 20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141
<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>